



地域のみなさま方と共に歩みます。  
 これまでも、これからも。

## CONTENTS

経営理念・福邦の心・プロフィール・当行のシンボルマーク	1
頭取メッセージ	2~3
より健全な銀行を目指して【資産の状況/リスク管理体制/コンプライアンス(法令等遵守)体制/ペイオフ解禁に向けて/金融商品販売法・消費者契約法/積極的な情報開示の推進】	4~6
社会・地域への貢献	7
時代の変化に対応するサービスの創造【トピックス】	8~9
コーポレートデータ【当行の役員/当行の組織図/従業員の状況/採用人員(新卒者)沿革(当行のあゆみ)】	10~11
ネットワーク【店舗一覧/店舗外キャッシュコーナー】	12~13
主な業務のご案内【預金業務/貸出金業務/証券業務/国際業務/各種サービス業務/手数料】	14~18
資料編	19~45

## 経営理念

### 地域社会への貢献

私どもは幸せな人間生活と豊かな社会づくりに貢献することを銀行活動の使命とします。

### 健全な経営

銀行の発展は、地域社会への貢献の証であり、私どもの存在を可能とするため、より健全な経営に心がけます。

### 活力ある職場

私どもが人間として尊厳を勝ちとるための錬成の場として、明るく活力ある職場づくりに努めます。

## 福邦の心

至誠の心	信頼の絆と責任を自覚し、お客様にまごころを尽くします。
和の心	お互いの立場を理解し、喜びを分かちあう心を育てます。
進取の心	変化に対応する熱意と挑戦する心を養います。
共存共栄の心	お客様第一に徹し、共存共栄の心で奉仕します。

## 福邦銀行プロフィール

本店	福井市順化1丁目6番9号
設立	昭和18年11月5日
資本金	43億円
発行済株式総数	31,800千株
店舗数	51カ店
従業員数	596名

## 当行のシンボルマーク

当行は平成元年にCI計画を導入し、このシンボルマークを使用しております。このマークは、顧客と当行の固い信頼関係の上に、共に発展していくため、当行のイニシャルである「F」をダイナミックにシンボル化したものです。グリーンの三角は地域の発展を示し、白とグリーンで円を描いている部分は、顧客と当行のふれあいを表しております。



この三角と円のハーモニーによって、全体にイメージされる「F」のデザインは、地域と顧客の繁栄に貢献し、未来永久に幸せをもたらしていきたいという当行の決意を示しております。

# 私たちは「地域のお客様から信頼され選ばれる銀行」を目指します。



新しい政治体制による構造改革が実施されようとしているなか、銀行の役割も大きく変化しつつあります。待ちに待った21世紀、福邦銀行が目指す姿は「お客様から信頼され選ばれる銀行」です。福邦銀行は地域金融機関としての存在を確立していくため、確固たる経営ビジョンに基づき、ゆるぎない経営基盤の構築に向け新しいスタートをきりました。これからの福邦銀行についてお話しします。

## 地域金融機関としての存在を確立していきたいと考えております。

皆様方には日頃から私ども福邦銀行を格別にお引き立ていただき厚くお礼申し上げます。本年も経営の現況や活動状況などについてより一層のご理解をいただくため、ディスクロージャー誌を作成いたしました。ご参考にしていただければ幸いです。さて、福邦銀行は昭和18年の創業以来、半世紀以上にわたり「地域社会への貢献」という経営理念のもと、皆様と共に歩み続け、地域社会と共に発展してまいりました。これは中小企業および個人のお客様への円滑な資金供給により地域金融の安定化に資するという第一義的使命の認識の下、お客様のニーズを的確に捉えながら金融サービスの向上に努め、地元経済の発展のため役員一丸となった努力を続けたことにより、地域の皆様の信頼を得ることもでき業績も順調に進展することができたと考えております。しかし、現在の環境は、IT革命、グローバル化など100年に一度の変革期に直面しており、自由化の波・自己責任に基づく経営など環境に適合し得る体力が強く求められているところであります。もはや既存概念、経営体質、営業スタンスの踏襲が通用しないものとなっております。また、金融機関の再編、異業種からの銀行業参入、ITを活用した金融サービスの登場等“ビッグバン”環境下で熾烈な競争が予想されるとともに不良債権処理・ペイオフ解禁・IT投資・会計ビッグバンへの対応など先送りにできない課題も山

積しております。福邦銀行はこれからも、このような金融環境の変化ならびに経営課題を克服し地域金融機関としての存在を確立していきたいと考えております。

## 「リテール基盤の拡充」に繋がる成果を上げました。

第四次中期経営計画の総仕上げと結果  
1998年4月にスタートしました第四次中期経営計画は国内経済の低成長、景気の停滞など大変厳しい環境下での実施でありましたが、各施策を積極的に実施したことにより自己資本比率の向上、個人預金の増加、住宅ローンを中心とした個人ローンの増加など当行が目指した「リテール基盤の拡充」に繋がる成果を上げました。



取締役頭取：三田村 俊文

## 第五次中期経営計画「POWERFUL INNOVATION 21」

期間：2001年4月～2004年3月

経営環境の変化、経営課題を克服し地域金融機関としての存在を確立していくための指針として「第五次中期経営計画」(POWERFUL INNOVATION 21)を策定し2001年4月よりスタートいたしました。21世紀、福邦銀行が目指すのは「地域のお客様から信頼され選ばれる銀行」です。「収益基盤の拡充」「リスク管理の徹底」を経営基本方針に、チャレンジ目標の達成に向け諸施策を確実に実施してまいります。

### 目指す銀行像

「地域のお客様から信頼され選ばれる銀行」

### 経営基本方針

収益基盤の拡充

リスク管理の徹底

### 重点課題

資産の運用・調達力の強化と収益力の強化  
経営資源の重点配分と経営効率の追求  
リスク管理の徹底と経営の健全性の確保

有価証券投資の多様化・高度化への対応  
人材の育成と活用

### チャレンジ目標

	2004年3月
自己資本比率	8%以上
コア業務純益	30億以上
コア業純ROA	0.6%以上
コア業純ROE	13%以上
OHR	70%以下
平均預貸率	80%

### 用語のご説明

#### コア業務純益

業務純益に一般貸倒引当金をプラスし、債券五勘定戻を控除したものであり銀行の本来業務による利益を表します。  
(業務純益 一般貸倒引当金 債券五勘定戻)

#### ROA (Return On Asset)

総資産に対する利益率のことで生産性や収益性を表します。  
(業務純益 一般貸倒引当金 債券五勘定戻) / (総資産平残 支払承諾平残)

#### ROE (Return On Equity)

自己資本(株主資本)に対する利益率のことで投下資本に対するリターン水準を表します。  
(業務純益 一般貸倒引当金 債券五勘定戻) / 資本勘定平残

#### OHR (Over Head Ratio)

業務粗利益に対する営業経費の比率のことで効率性を表します。  
営業経費 / 業務粗利益